

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年8月8日

上場会社名 株式会社ゲオディノス 上場取引所 東
 コード番号 4650 URL http://www.geodinos.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 光安 浩二
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 吉住 実 TEL 011-241-3951
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

百万円未満切捨て

1. 平成26年3月期第1四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,989	1.4	25	—	△11	—	△35	—
25年3月期第1四半期	1,961	△2.6	△36	—	△76	—	△84	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△8.44	—
25年3月期第1四半期	△19.86	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	10,632	2,338	21.9	549.83
25年3月期	10,417	2,376	22.8	556.88

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 2,333百万円 25年3月期 2,371百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,200	2.8	20	48.1	△60	—	△80	—	△18.79
通期	8,600	2.7	250	10.5	80	28.0	50	△16.3	11.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	4,303,500株	25年3月期	4,303,500株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	59,494株	25年3月期	45,094株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	4,250,810株	25年3月期1Q	4,258,406株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きを実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出の持ち直しや各種政策の効果などを背景に、企業収益の改善が家計所得や投資の増加につながり、緩やかな景気回復がみられる一方で、海外景気の下振れに注意が必要な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社の経営の基本方針である『人々に《楽しむ》を提供し、明日の幸せをお届けします。』の経営理念のもと、一層の経営の効率化を図り、収益力の強化に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間の売上高は19億89百万円（前年同四半期比1.4%増）、営業利益は25百万円（前年同四半期は営業損失36百万円）、経常損失は11百万円（前年同四半期は経常損失76百万円）、四半期純損失は35百万円（前年同四半期は四半期純損失84百万円）となりました。

当第1四半期累計期間における営業実績をセグメント別に示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	前年同四半期比 (%)
GAME運営部 (千円)	766,399	2.5
フィットネス運営部 (千円)	601,075	3.4
ボウリング運営部 (千円)	290,073	0.3
カフェ運営部 (千円)	127,172	△4.7
ディノス施設運営部 (千円)	204,500	△2.3
（シネマ） (千円)	(149,771)	(△4.4)
（その他） (千円)	(54,728)	(4.1)
合計 (千円)	1,989,222	1.4

- (注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。
 2. 当第1四半期会計期間の組織変更に伴い、カフェ運営部の1店舗をボウリング運営部に変更しております。前年同四半期比については、当該組織変更を反映した前年同四半期の数値を用いております。
 3. ディノス施設運営部の（その他）は、土地・建物の賃貸収入等の売上であります。
 4. ディノス施設運営部のセグメント内訳は、内部管理上採用している区分によっております。

(GAME運営部)

GAME運営部につきましては、「ゲオパークじょいくるーず店」の閉店（平成24年11月）等がありましたが、ゲオショップ内のゲームコーナーであるリトルパークの新規出店並びにUFOキャッチャーに代表されるプライズ機の景品を取れやすくすること（原価率重視からペイアウト率重視へ転換）やメダルゲームの貸出枚数を大幅に増加させる（時間消費型レジャーへの意識転換）等の施策が効果を上げ始めたことなどにより、売上高は7億66百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

(フィットネス運営部)

フィットネス運営部につきましては、健康意識の高まりにより、利用者及び会員数が増えたこと、加圧トレーニング導入効果など会費以外の収入が増えたこと、女性専用の「ホットヨガスタジオ ハーティノルベサ（札幌市）」がオープン（平成25年1月）し、店舗数が増えたことなどにより、売上高は6億1百万円（同3.4%増）となりました。

(ボウリング運営部)

ボウリング運営部につきましては、健康増進レジャーとして、生涯スポーツとしての魅力普及強化により、ボウリング教室等をシニア層向けに開催したり、またプロショップ「ベガ」（ボウリング用品専門店）を3店舗にオープンし、物販収入が増えたことなどにより、売上高は2億90百万円（同0.3%増）となりました。

(カフェ運営部)

カフェ運営部につきましては、割引クーポンの発行やシニア割引、また飲食のテイクアウト等施策を実施しましたが、業界全体の規制強化の影響を受け、その回復が遅れていること、一部地域における競合店の出店による影響などにより、売上高は1億27百万円（同4.7%減）となりました。

(ディノス施設運営部)

ディノス施設運営部につきましては、「その他」において、前事業年度に1店舗を飲食店として他社への賃貸物件を増やしたことにより(平成24年12月)、不動産賃貸収入が増加しましたが、「シネマ」において、前年ほどのメガヒット作品(「テルマエ・ロマエ」等)に恵まれなかったことなどにより、売上高は2億4百万円(同2.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期会計期間末の総資産は106億32百万円となり、前事業年度末に比べ2億15百万円増加しました。これは主に、建物等有形固定資産の減少(前期末比1億50百万円減)などがありましたが、現金及び預金等流動資産の増加(同3億67百万円増)があったことによるものであります。

負債については、82億94百万円となり、前事業年度末に比べ2億53百万円増加しました。これは主に、買掛金等流動負債の減少(同39百万円減)がありましたが、社債等固定負債の増加(同2億92百万円増)があったことによるものであります。

純資産については、23億38百万円となり、前事業年度末に比べ37百万円減少しました。これは主に、利益剰余金の減少(同40百万円減)があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年5月9日付「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表した業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	799,205	1,210,384
売掛金	150,949	121,609
商品及び製品	28,003	32,385
原材料及び貯蔵品	79,703	83,943
その他	140,765	118,065
貸倒引当金	△1,010	△960
流動資産合計	1,197,616	1,565,428
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,818,124	3,752,914
アミューズメント機器(純額)	411,879	378,386
土地	2,699,860	2,699,860
リース資産(純額)	553,177	505,306
その他(純額)	205,333	201,124
有形固定資産合計	7,688,376	7,537,592
無形固定資産		
投資その他の資産	26,374	24,415
差入保証金	1,187,285	1,180,276
その他	289,368	271,534
投資その他の資産合計	1,476,654	1,451,810
固定資産合計	9,191,406	9,013,818
繰延資産	28,113	53,561
資産合計	10,417,135	10,632,809
負債の部		
流動負債		
買掛金	176,930	131,527
短期借入金	130,000	200,000
1年内償還予定の社債	330,000	462,800
1年内返済予定の長期借入金	1,207,328	1,136,952
1年内返済予定の長期未払金	359,896	336,826
未払法人税等	35,631	11,719
賞与引当金	31,229	19,452
ポイント引当金	7,600	7,600
その他	922,203	854,711
流動負債合計	3,200,818	3,161,589
固定負債		
社債	1,032,000	1,725,200
長期借入金	2,459,515	2,178,121
長期未払金	668,573	577,376
資産除去債務	142,162	142,928
その他	537,334	508,807
固定負債合計	4,839,585	5,132,433
負債合計	8,040,404	8,294,022

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	948,775	948,775
資本剰余金	1,128,995	1,128,995
利益剰余金	313,651	273,503
自己株式	△20,987	△26,805
株主資本合計	2,370,434	2,324,469
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	989	9,010
評価・換算差額等合計	989	9,010
新株予約権	5,307	5,307
純資産合計	2,376,731	2,338,786
負債純資産合計	10,417,135	10,632,809

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,961,126	1,989,222
売上原価	402,095	425,553
売上総利益	1,559,031	1,563,668
販売費及び一般管理費		
給料	403,533	388,270
賞与引当金繰入額	19,556	19,452
退職給付費用	5,262	5,439
水道光熱費	163,189	157,635
租税公課	18,365	21,353
地代家賃	303,127	299,774
減価償却費	193,353	189,103
修繕維持費	99,810	100,475
その他	389,307	356,619
販売費及び一般管理費合計	1,595,506	1,538,124
営業利益又は営業損失(△)	△36,475	25,544
営業外収益		
受取利息	884	785
受取配当金	1,022	711
アミューズメント機器売却益	—	1,504
その他	1,208	1,336
営業外収益合計	3,114	4,339
営業外費用		
支払利息	31,685	27,774
アミューズメント機器処分損	1,848	3,587
その他	9,507	9,968
営業外費用合計	43,041	41,331
経常損失(△)	△76,402	△11,446
特別利益		
固定資産売却益	12	—
投資有価証券売却益	—	1,229
特別利益合計	12	1,229
特別損失		
固定資産除却損	984	26
特別損失合計	984	26
税引前四半期純損失(△)	△77,375	△10,243
法人税、住民税及び事業税	8,066	7,664
法人税等調整額	△880	17,981
法人税等合計	7,185	25,645
四半期純損失(△)	△84,561	△35,889

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。